

降臨節第1主日特祷

全能の神よ、私たちに闇の業を捨てて、光のよろいを着る恵みをお与えください。死すべき定めにあるこの時に、御子イエス・キリストは謙遜な御姿で私たちのもとに来られました。どうか、終わりの日に生きている人と死んだ人とを審くために主が栄光をもって再び来られる時、私たちを永遠の命によみがえらせてください。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

旧約聖書 イザヤ書2章1－5節

2:1 アモツの子イザヤがユダとエルサレムについて幻に示された言葉。2 終わりの日に、主の家の山は、山々の頭として堅く立ち、どの峰よりも高くそびえる。国々はこぞって川の流れのように、そこに向かい、3 多くの民は来て言う。「さあ、主の山、ヤコブの神の家に登ろう。主はその道を私たちに示してくださる。私たちはその道を歩もう」と。教えはシオンから、主の言葉はエルサレムから出るからだ。4 主は国々の間を裁き、多くの民のために判決を下される。彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦いを学ぶことはない。5 ヤコブの家よ、さあ、主の光の中を歩もう。

詩 編 第122編

- 1 「主の家に行こう」と人々が言ったとき || 私は喜んだ
- 2 エルサレムよ、あなたの城門の中に || 私たちの足は立っていた
- 3 都として建てられ || 家々の連なるエルサレムよ
- 4 そこへ、もろもろの部族、主の部族は上った || イスラエルの定めとして、主の名に感謝するために
- 5 そこにこそ、裁きの王座が || ダビデの家の王座が据えられてあった
- 6 エルサレムの平和を求めよ || 「あなたを愛する人々が安らかであるように

- 7 あなたの城壁の内に平和があるように || あなたの城郭の内に平安があるように。」
- 8 私の兄弟、友たちのために、さあ、私は言おう || 「あなたの内に平和があるように。」
- 9 我らの神、主の家のために私は願おう || 「あなたに幸いがあるように。」

使徒書 ローマの信徒への手紙 13章 11－14節

13:11 さらに、あなたがたは今がどんな時であることを知っています。あなたがたが眠りから覚める時がすでに来ています。今や、私たちの救いが、初め信じた時よりも近づいているからです。12 夜は更け、昼が近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨て、光の武具を身に着けましょう。13 日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。馬鹿騒ぎや泥酔、淫乱や放蕩、争いや妬みを捨て、14 主イエス・キリストを着なさい。欲望を満足させようとして、肉に心を向けてはなりません。

福音書 マタイによる福音書 24章 36－44節

24:36 「その日、その時は、誰も知らない。天使たちも子も知らない。ただ、父だけがご存じである。37 人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。38 洪水になる前、ノアが箱舟に入る日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていた。39 そして、洪水が来て一人残らずさうまで、何も気が付かなかった。人の子が来る場合も、このようである。40 その時、畑に二人の人がいれば、一人は取られ、一人は残される。41 二人の女が臼を挽いていれば、一人は取られ、一人は残される。42 だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が来られるのか、あなたがたには分からないからである。43 このことをわきまえていなさい。家の主人は、盗人が夜のいつごろやって来るかを知っていたら、目を覚ましていて、みすみす自分の家に忍び込ませたりはしないだろう。44 だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」